

環境



特集

観光×地域×環境

地域を元気にする エコツーリズム

岡山県環境保全事業団

わたしたちの仕事
環境調査部 分析1課2課(分析部門)

参加・交流・協働する場
かんきょうひろば

NEXT STEP
倉敷市立老松小学校

TOPICS
温暖化をみんなで防止!!
取り組み成果発表

岡山大学 地域総合研究センター AGORA
倉敷市水島を対象とした実践型教育の導入(2)

岡山県自然保護センター
自然保護センターへ来てみられえ~

環境

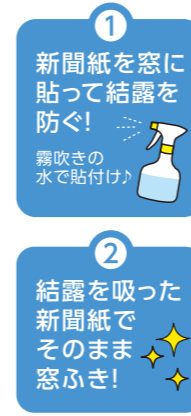
みんなではじめる
エコマガジン 環境

発行日：平成27年12月14日
発行所：公益財団法人岡山県環境保全事業団
環境学習センター「アスエコ」〒700-9007 岡山市北区下石井2丁目2-10

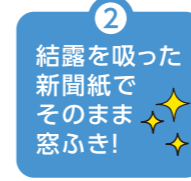
「環境人のご意見」で感想
アスエコまで
定期配送のお申し込みは

TEL:086-224-7272
FAX:086-224-7273

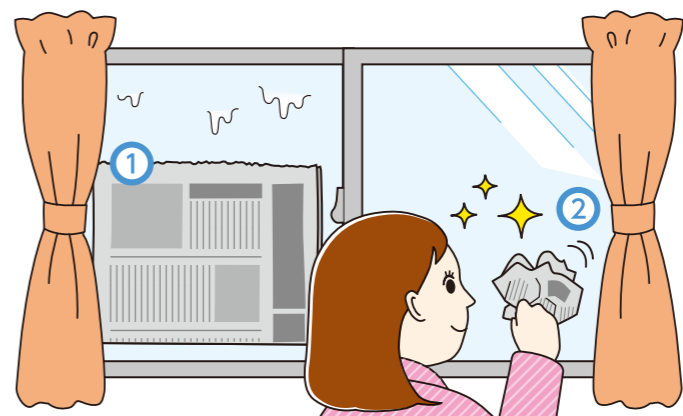
開催時間：午前10時~午後6時(午後1~2時はお休み)
休館日：日曜、祝日、年末年始



① 新聞紙を窓に貼って結露を防ぐ!
霧吹きの水で貼付け!



② 結露を吸った新聞紙でそのまま窓ふき!



新聞紙で簡単
結露対策!!
冬の窓に現れる結露。
新聞紙で簡単に対策ができます!

外気と室内の温度差が大きくなると窓ガラスに水滴が付く、結露。カーテンや床が濡れるだけでなく、カビやダニの原因にもなり、とてもやっかいですよね。そこで今回ご紹介するのは、お手軽な結露の対策方法です。やり方は簡単。寝る前に窓に新聞紙を貼っておくだけです!新聞紙は、霧吹きで軽く水を吹き付けるだけで固定でき、次の朝には新聞紙が結露をたっぷり吸収してくれるので、窓やカーテンが濡れません。また、結露を吸った新聞紙で窓を拭くと、新聞紙のインク油がツヤ出し効果も与えてくれて石一鳥です!身近なものを活用して、エコで快適に冬を乗り切りましょう。



世界に1つのエコバッグ
作ってみませんか?

●アスエコがあなたの工房に♪
新聞紙や無地の布を使い、オリジナルの素敵なバッグが作れます♪新聞紙バッグは折って糊付けするだけ、布バッグは布用クレヨンで絵を描いて、アイロンするだけで、とっても簡単♪
1F展示スタッフに、気軽にお声掛けください!!
会場:1F展示スペース
随時開催中!! 詳細はスタッフへ♪
※制作には実費がかかります。(新聞紙:50円/布:250円)



自分だけの
手作りエコバッグ!
色んなものを入れて
有効活用しよう♪

「瀬戸内海国立公園指定80周年記念エコツアー」 モニターツアー in 日生

2015年11月、岡山県エコツアーキーパーソン養成研修を受講した20名が参加し、日生の地域に触れながらエコツーリズムを学ぶモニターツアーが実施されました。

エコ
ツアー
レポート

「当日のタイムスケジュール」

09:30	ツアー出発
11:30	日生レクチャー
11:30	カキ 牡蠣打ち体験
12:30	カキオコ店で昼食
13:00	町を散策
14:10	船めぐり
15:30	エコツアーの振り返り

雨のため遅れてしまいましたが、それも付き物。



バスで出発 & オリエンテーション

当日は雨でしたが、20名がツアーに参加。バス内で講師の森 高一氏 (NPO法人日本エコツーリズムセンター共同代表) によるエコツーリズムと地元学の振り返りを行いました。



地元学とは？

地域のもつ人と自然の力、文化や産業等その地にあるものの力に気づき、引き出していくための手法



「日生の「アマモ再生活動」レクチャーを受けました」



到着後、日生町漁業協同組合の天倉氏から、30年間のアマモ再生活動の歴史と、持続可能な里海づくりの取り組みについてレクチャーを受けました。



剥く机の上いっぱい牡蠣を体験



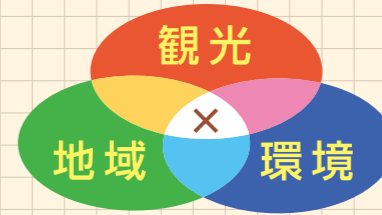
天倉氏にやり方を教わり、牡蠣打ちを体験。最初はなかなか上手くいかなかった人も、どんどん上達し、皆さん楽しそうに、一心不乱に剥いていました。



皆でたくさん剥きました！



特集



地域を元気にする エコツーリズム

「エコツーリズム」ってどんなもの？それは、その地域の個性、本質的な魅力(DNA)を最大限に活用して地域の活性化を促す動き。岡山県でも始まっています。

① 地域の活性化

都市交流・地域産業の参加

② 人づくり・人材発掘

新たな生きがいの創出

③ 子どもの教育

地域(故郷)への誇り、愛する心

「地域を元気にする」 3つのポイント！

キーワードは「地域」「人」「教育」

エコツーリズムを利用した地域の魅力を再発見する活動が、地域活性化の第一歩となります。その魅力を活用することで、①地域の活性化による交流が生まれ②人づくり・人材発掘に繋がり、地域を愛する心を育むための③子どもの教育を推進する事が期待されています。

エコツーリズムとは

地

域の特色ある自然・文化・暮らしへの理解を深める旅行や交流活動によって、地域の環境保全や産業振興につながる「エコツーリズム」という仕組みづくりが、世界的に広まってきています。(NPO法人日本エコツーリズムセンターの定義より)

岡山県でも始まっています

岡

山県では、活動を推進するキーマンの育成や、エコツーリズムの考え方に沿った「エコツアー」の実施など、地域に根ざした観光の促進を行っています。森林源流の散策や生き物観察、地域の達人・住民に学ぶ農業体験など、地域ならではの魅力を再発見できるツアーが企画されています。

「観光×地域×環境」の視点から地域について学び楽しむエコツーリズム。新たな体験を求め、参加してみたいかがでしょうか。



西栗倉村

森岩 栄さん【株式会社 あわくらグリーンリゾート】

地域の名人から学ぶ体験を。

現地の体験ができるイベントや宿泊でのツアーを企画しています。先日行った自然薯(じねんじょ)掘りツアーでは、自然薯掘り名人の方々にもご協力いただき、参加者と一緒に掘り出した自然薯を料理にして皆でいただきました。



ツアーの中では、観光だけでなく地元の人とのふれあいを持つ事で地域への愛着を持っていただくと嬉しいです。

お客様の声を大切にしながら、今後は多くの方に楽しんで頂けるツアー等も企画していきたいと考えています。

連絡先 0868-79-2330



新庄村

黒田 眞路さん【新庄村森林セラピー協議会】

県内唯一の森林セラピー基地です。

村内全域が森林セラピー基地として認定されており、ブナの森でリラックスし、ゆっくりとしてもらえる様に一年中ご案内しています。



海のカキやノリにも川からの栄養が影響します。そしてキレイな川の源流域には豊かな森が必要。そのことを体験を通じてわかっていると考えています。地球上でゴミを出すのは人間だけ。人の意識が変われば環境は改善されます。人の手が必要で大事なのです。

興味関心を持つタネをまき水を与え、陽もあてて人材を育成する中で共に成長していきたいと考えています。

連絡先 0867-56-2628 (新庄村役場産業建設課)



備前市

橋本 誠二さん【備前市役所 まち産業課】

里海を五感で味わうツアーを計画中です。

備前市日生は、アマモ場再生活動発祥の地として知られています。アマモ場再生活動や、海底ごみの持ち帰りなど、人の手を加えること【里海づくり】で、育まれる海の豊かさや恵みを見て、触れて、味わえるツアーを今後企画していければと思います。

具体的には、里海学習にプラスで、夏期はアマモ場観察、冬期は牡蠣むき体験を核としたツアーを考えています。

エコツアーは、現在はまだ運営していませんが、備前市の里海の魅力に全身で触れて頂ける企画を実施していきたいと思っています。



連絡先 0869-64-1836



真庭市

東條 真也さん【一般社団法人 蒜山の風】

大自然の移り変わりを楽しんでください。

『女性美・自然美の撮影』と題し、プロのメイクでより美しくなった姿で、蒜山の大自然に入り撮影をしてもらう企画や、未婚の男女を対象に、ホテル等地域の自然を活かしたカップリングパーティーを行っています。



蒜山は美しい自然に囲まれ、四季によって大きくその顔を変えます。そんな自然に直接触れ合ってもらい、今まで体験出来なかった『初体験』を皆様にお届けしたいと思っています。

今後については、皆様からのご要望にお応えしながら、定期的にイベントを開催していきたいと考えています。

連絡先 080-6249-0868 (10:00-17:00)

エコツーリズムで地域を元気に!!

岡山県でエコツーリズムを行っている方、計画されている方にお話を伺いました。それぞれの地域の環境や文化に触れるエコツアーに参加してはいかがでしょうか。



船の上から見るとまた違う魅力を感じます



散策後は船で日生の海を回りました。アマモ再生活動や牡蠣後など里海づくりの現場で天倉氏のお話を聞き、日生の島々を海から巡りました。



町を散策

船の準備ができるまで、町を散策しました。地元の人オススメのお店や豆知識など、ここでしか見られないモノ・コトがいっぱいです!



今回のツアーをふりかえりました

最後に、今回のエコツアーについてのふりかえりと実施のポイントについて、講師の森高一氏にお話をいただきました。ツアープランニングでのポイントや企画・プロデュースで大切な事など、参加者に分かりやすく伝えていました。



昼食は日生の牡蠣を思う存分堪能!

お昼は日生の牡蠣を使ったB級グルメ「カキオコ」を実食。その土地ならではのグルメを堪能しました。



さらにサプライズで「牡蠣打ち」した牡蠣を炒め「漁師焼」に!自分たちの剥いた牡蠣は、カキオコとはまた違う味わいでした。



まとめ

今回は、日生の「アマモ・牡蠣・里海」を体感することができました。地域の魅力を伝えるには①その地域の個性(DNA)活かしたコンセプトづくり、②そのコンセプトを体感できる内容づくり、また、その内容から、③「見えているものを通して、見えないものを伝える」ツアープランが必要なのだ学びました。

岡山県の環境分析の核として 暮らしやすい環境づくりに貢献

環境調査部
分析1課2課
(分析部門)



お話を伺ったのは
環境調査部
分析2課
課長
おか 透さん

1958年、岡山県倉敷市生まれ。信州大学繊維学部卒。
1984年9月に岡山県環境保全事業団へ入団。環境調査部において環境分析・測定、環境アセスメント等に従事。2013年4月より現職。計量管理者(環境計量士=濃度、騒音・振動)。

環境調査部分析1課2課(分析部門)の役割は、
水や土、産業廃棄物などの分析を通じて、
環境保全に向け正しい情報を提供することです。

環境調査部分析1課2課(分析部門)では、水質、土壌、廃棄物、大気質、石灰など顧客から依頼のあった様々な試料を分析しています。顧客は県や市町村などの自治体と民間業者がほぼ半々。自治体からの分析依頼は公共用水域(海域など)をはじめダム湖や河川の水質や底質、民間事業所からは事業工程水や廃水が大部分を占めています。顧客から持ち込まれる試料もありますが、海域



などは自治体の委託を受けて当該の職員が船で試料採取に向かいます。

3つの分析係が連動

分析部門は3つに分かれています。pHやCOD(化学的酸素要求量)、BOD(生物学的酸素要求量)など主に生活環境項目を分析する「一般分析係」、カドミウムや鉛、水銀など主に金属類を中心とした有害項目を分析する「廃棄物分析係」、ガスクロマトグラフで、試料中のPCB(ポリ塩化ビフェニル)や有機リンなど有機化合物の分析をする「微量分析係」です。微量分析係では悪臭測定や

農業分析も行います。この3つの係はそれぞれ単独ではなく、全係で使う廃棄物等の溶出液の作成は廃棄物分析係が行ったり、試料の採取は係に関係なくチームを組んで出かけたりと、分析部門20人の職員は協力して業務をこなしています。

何でも相談室を目指したい

顧客には精度の高い正確なデータを迅速に返すのが当課の使命。外部精度管理(クロスチェック)にできる限り参加し、分析手順を厳重に管理して汚染にも細心の注意を払っています。部内JISQ17025の試験所認定も取得しました。正確なデータの提供が自治体的確な施策や民間事業所での適切な廃水管理・産業廃棄物処理につながり、暮らしやすい環境づくりに貢献する



環境調査部の分析データは、
岡山県民の安全、
そして安心を守っています。

と確信しています。また、これまで蓄積してきた分析の技術や知見を広く地域の皆様に役立てていただくために、岡山県内の環境分析の核として「環境に関する何でも相談室」を目指していきたいと考えています。

参加・交流・協働する場
レポート
Report
かんきょうひろば

地域の環境学習に貢献!! 「おかやまエコスクール」表彰

「おかやまエコスクール」は、「かんきょうひろば(正式名称:岡山県環境学習協働推進広場)」が実施する出前講座を5年間継続して活用し、地域の環境学習の推進に貢献した学校を表彰する制度です。

環境学習出前講座で環境意識の向上を

「かんきょうひろば」では、県内の学校へ講師を派遣し、参加体験型の環境学習を実施しています。出前講座による環境学習を通じて、子ども達の環境意識の向上を図っています。皆さんの学校でもぜひ活用してみたいかがでしょうか。



平成27年度おかやまエコスクール表彰式

今年度は5校が受賞

過去3年間で20校が「おかやまエコスクール」を受賞しています。そして、平成27年度では「第3回おかやま環境教育ミーティング」で表彰式を行い、5つの学校が受賞しました。今回は過去受賞校の中から2校の活動を紹介します。



岡山市立京山中学校 探究活動や学習プログラムの実践。 環境に関する生徒会活動。

総合的な学習の時間「環境学習～地球は一つ!水俣から発信する世界につながる願い～」での探究活動、貧困・環境がテーマの教科横断型学習プログラムを実施。生徒会ではゴーヤプロジェクト、ペットボトルキャップ回収、省エネ運動Eco-CRIPIに取り組みました。

子どもたちの反応 環境問題をはじめとした地球的課題には、さまざまな要因があり、その解決には主体的・批判的に学ぶことが大切だと気づきました。また、環境問題への課題意識が高まり、社会貢献や地域ボランティアへの意欲が増しました。

玉野市立玉原小学校 玉原親水公園の自然観察や 水辺の生き物調べから生態系を学ぶ。

公園について「歴史を知る」「自然観察」「水辺の生き物調べ」という3回の出前講座を通して、地域の生態系を学習しました。実際に、公園の中で虫を捕まえたり、水の中に入って生き物を捕まえたりする活動は、興味をもって取り組みました。



子どもたちの反応 遊び場、地域行事の場として身近な存在である公園について体験学習をし、初めて知ることに感動していました。地域の生態系に関心を深めるとともに、捕まえた生き物は自然に戻し、環境保全にも努めたいという意識が高まりました。

出前講座活用で「おかやまエコスクール」を受賞!

環境学習 出前講座の 申込方法

学校だけでなく、企業、公民館や自治会等の地域活動団体イベントでも講師を派遣しています。

「アスエコ」で検索!
アスエコ 検索

TOPICS

温暖化をみんなで防止!! 取り組み成果発表

環境省は、平成10年度から12月を「地球温暖化防止月間」と定め、国民や事業者、行政が一体となって、様々な取り組みを行うことで、地球温暖化防止に向けた国民運動の発展を図っています。環境学習センター「アスエコ」でも、こんな事業を行いました。

最優秀賞
個人部門



緑のカーテンコンテスト 結果報告2015

みんなで「ストップ温暖化」に取り組むため2008年(平成20年)からはじめた「緑のカーテンコンテスト」に、今年も多数の応募をいただきました。

【倉敷市在住の方】

混んでいる所、手が届く範囲で摘心を積極的に行い、つるを上へ上へと導きました。肥料と水やりにも気を使いました。朝顔が咲いている様子は見事です。台風の影響で支柱が曲がってしまったが、持ちこたえてくれました。

参加件数

215件

CO₂削減効果※1

83t (うち、学校などエアコン設備がない箇所を除いた場合……80t)

※1:緑のカーテンの葉から吸収されるCO₂削減量を含む。

電気使用量削減効果

94,659kWh

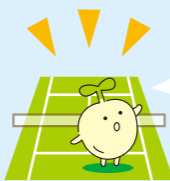
※1kWhあたり27円で計算すると削減できた電気は255万円にも!!

最優秀賞
団体部門



【玉野市立渋川保育園】

ゴーヤの葉がたくさん茂り、その間に黄色い花が咲いてとてもきれいでした。昨年より大きなトンネルができ、子どもたちが中に入って涼しさを感じたり、ゴーヤのつるが伸びていく様子など観察でき、自然物に親しむ良い機会になりました。



岡山県内での取り組みによる緑のカーテンの総面積は

4,713m²

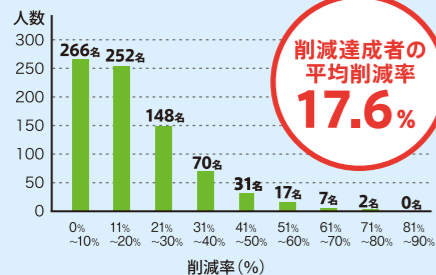
テニスコート約18面分だ!!

夏の節電

省エネサマーチャレンジ結果報告2015

電気の使用量を基準年※同月より減らすことを目標に、家庭で省エネに取り組む「省エネサマーチャレンジ」。今夏の省エネチャレンジでは電気使用量が基準年より削減できた方が793名、削減できなかった方が383名で、あわせて1,176名の方よりご応募いただき69,460kWhの電気使用量と50tのCO₂が削減できました。

●削減率の分布



削減達成者の平均削減率
17.6%

※基準年とは?
(参加した年により異なります。)

参加された年	基準年
H24年以前から参加の方	H24~H26年(※)
H25年から参加の方	H24年
H26年から参加の方	H25年
H27年から参加の方	H26年

※使用量実績の平均値を使用します。

応募者数 1,176名

削減達成者数 793名

応募者数に対する達成率…67.4%

今回のコンテストを通して

削減できた電気使用量 69,460kWh

削減できたCO₂削減量 50t

この削減量は3,567本の杉の木が吸収するCO₂と同じ量

倉敷市立老松小学校

自然エネルギーを身近に体感できる校舎

NEXT STEP



倉敷市中心市街地の近くにある倉敷市立老松小学校。1階昇降口を入ってすぐ、自然光あふれる多目的ホールには、子どもたちがよく集まる場所があります。そこは、夏は冷たく冬は暖かい風が出てくる場所。年間を通して温度変動の少ない地中熱を利用した換気システムの吹き出し口です。



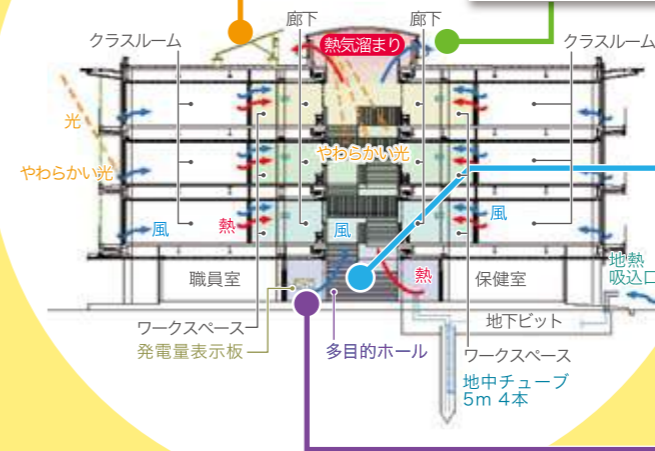
屋上に設置された太陽光パネル



自然通風を促すスイング窓



屋根から自然光を取り込んだ校舎内



モニターに発電・発熱量を表示



1階多目的ホールの地中熱吹き出し口

倉敷市では、老松小学校の校舎建て替えに伴い、自然エネルギーを学校内で学べる設備の導入を行っています。

1階のホールは吹き抜けになっていて、自然の光が降り注いでいます。これは、屋根に光を集めるアーチ状の素材が使われているから。いつでも自然光をたっぷり取り入れることができます。

また、地中熱を利用した換気システムは、取り込む空気の温度を緩やかに調整。夏は涼しく冬は暖かい空気を校内に送り出しています。子ども達は吹き出し口の周りに集まり、自然エネルギーが生み出した快適な風を感じることで、自然の恵みを直接体感することができます。

屋上には、太陽光パネルも設置されており、校内での発電量や二酸化炭素(CO₂)の削減量をホールのモニターに表示。リアルタイムで知ることができます。

現在は残りの太陽熱パネルの導入工事が進行しています。太陽熱エネルギーは、給食場やプールシャワーの給湯に利用される予定です。

身近な所で様々な体験ができる学校が増えていくことは、子ども達が環境を考える上でとても良い影響を与えるでしょう。

倉敷市立老松小学校 倉敷市老松町4-10-1 TEL:086-422-6600

老松小学校

検索

<http://www.kurashiki-oky.ed.jp/school/oimatu-e/>

12月～3月の自然保護センターは冬鳥達の楽園!
かわいくてカラフルな鳥たちがいっぱい!寒い冬の今しか見ることができない
これらの鳥たちを探してみよう!いくつかのビンゴが完成するかな?

自然保護
センターへ
来てみられえ～

冬フクのワクワクウオッチング♪

とりBINGO

日本で最も小さい鳥のひとつ!

冠羽が立った様子と
鮮やかな黄色が相まって
トラミたい!

オスは脇腹のオレンジや
背や尾のブルーが鮮やか!

オスは逆に
控えめです!

スタッフ
存ジョ!

幸せの青い鳥

自然保護センターニュース

今から始める!親子のための自然教室

10月3日(土)、秋晴れの空の下、15名の方々イベントに参加
てくれました。講師は自然大好きパパの「佐藤正浩さん」。

バッヤカマキリの仲間をみんなで捕まえたり、タカの渡りを見たり、秋の味覚ナツハゼ、ガズミなどを
食べたり、45種類の生きものを発見
する賑やかな観察会となりました♪

いろんな発見が
あって楽しかった!

また
参加したい!

よく山を歩きますが、木や花の名前が
覚えられなくて...でもこの観察会に
参加するとよくわかりました!

岡山県自然保護センター

☎0869-88-1190 〒709-0524 和気郡和気町田賀 730
休所日/毎週火曜日及び祝日の翌日、年末年始
開所時間/9:00～16:30 入場料/無料

ホームページ <http://opnacc.eco.coocan.jp>
ブログ <http://blog.canpan.info/sizenhogo-center-01/>

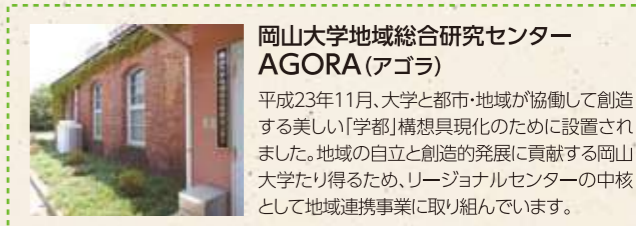
参加費は 他にもこんな生きものや
全て無料!! 植物を観察できます!

その時期に見られる様々な生きものを観察する「初心者
のための自然観察会」を開催!予約なしで、どなたでも気
軽に参加できます。

時間 10:00～12:00 (9:50 集合) 集合場所 センター棟

2/21 (日)	<p>冬鳥観察会 寒い地域から冬越しにセンターにやってきた鳥たち。ヨシガモやジョウビタキ(写真左)、ルリビタキ(写真真ん中)、アオジなどの定番の他、アトリやウソ、キクイタダキ(写真右)も見られたらいい!数は限られますがお貸しできる双眼鏡がありますので初心者の方も遠慮なくどうぞ。</p>
3/6 (日)	<p>フィールドサインを探せ! 痕跡でわかる動物の名前。普段見ることの出来ない動物たちのサインを見逃すな!あなたは何種見つけられるかな?</p>

岡山大学
地域総合研究センター
アゴラ
AGORA



岡山大学地域総合研究センター
AGORA(アゴラ)

平成23年11月、大学と都市・地域が協働して創造
する美しい「学都」構想具現化のために設置され
ました。地域の自立と創造的発展に貢献する岡山
大学たり得るため、リージョナルセンターの中核
として地域連携事業に取り組んでいます。

共感を持って思考する知性
「今までできてきた環境学習とは全然
違うなと感じました。実際に見た水
島の海やコンビナート、そこで生計
を立てている漁師さんや企業の方々
の話、それを見て聞いて考え、みんな
で意見交換をしてまとめること...
住民側・企業側、さらには国側の立場
に立ってそれぞれの利害を考えるこ
とができました。」公害被害地に住
んでいたで、小学校から地域に根
付いた環境教育を受けていた。しか
し、今まで習ってきたことは教科書
や資料の中だけの話であって、本
当に自分の視点に立ち地域を見つめて
いなかった。「昨年度受講生の感想
文から」
今の大学生は子供の頃から環境
について学んでいますが、教科書で
習う「公害」は過去のものだと思っ
ていたという声が多く聞かれます。本
授業の受講生は、今も後遺症に悩む
方々の談話に心打たれ、かつてコン
ビナート企業幹部だった方のお話か
ら企業人の思いにも共感し、環境監
視に携わる市職員の方の努力に感
銘を受け、商店街の皆さんや漁師さ

vol. 3 倉敷市水島を
対象とした実践型教育の導入(2)



発表会では、学会さながらのポスター
セッションを試みました。

んたちとの交流や蘇った海の恵みを
楽しみ、患者側弁護士長のご講義で
10年という公害訴訟の長さの圧倒
され...その度に思いが大きく振幅
しました。しかし、この体験こそ問
題を多面的に捉える力への第一歩で
はないでしょうか。
実践型教育科目では、最終日に関
係者を招いて発表を行います。今年
は、もし自分の町にコンビナート誘
致計画が持ち上がったら、との想定
で、政治家・企業幹部・住民・行政外
部者に分かれて班ごとにロールプレ
イを行うことで、授業での学びを振
り返りました。この思考実験の結果、
全ての班が環境アセスメントなど新
しい条件下で誘致賛成の結論を示し
たところ、参加者から厳しい意見も
寄せられました。なぜ反対の班がな



Profile
岡山大学
地域総合研究センター
研究員
鷹野 郁子
Takano Ikuko
London School of Economics
& Political Science、岡山大学で
修士号取得(メディア規制論、法
社会学)。関心領域は法と社会
の相互関係、規制緩和の時代
における公私協働。

いのか、住民が選挙に出て議員にな
れば意見が変わるのでは、等々。担当
教員以外の大人とのこうした応酬
も、大学生には良い体験でした。
「本場に問題を考察したり意見を
述べたりしたいならば、問題の事象
の中に、入り込む、外部者として
、当事者の側に立ってみる...それ
が正しい、外部者としての在り方
だと感じた。」(本年度受講生のレポ
ートより)
対象の中に入り、共感を持ちつつ
冷静に観察し思考する知性、その重
要性に大学一年生の段階で気づく機
会を提供できるなら、実践型社会連
携教育の意味は大きいと考えます。